

米沢市地域公共交通計画（案）に係るパブリック・コメントの結果について

1 募集対象計画等

米沢市地域公共交通計画（案）

2 募集期間

令和4年1月28日（金）～令和4年2月16日（水）

3 意見の提出者数及び件数

提出者数 4名／提出件数 11件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

意見の内容及び意見に対する回答

整理 番号	項目	意見の概要	意見に対する回答	修正の 有無
1	P.45 基本目標	乗車する方の多い時間帯は大型バス、少ない時間帯はマイクロバスと使い分けすると、ガソリンの節約にもなると思う。	計画では、地域の暮らしの足として市民の皆様に“選ばれる”持続性の高い公共交通を目指しており、そのためには、既存路線において、利用状況や地域特性に応じた、運行方法・交通モードなど様々な視点からの見直しを予定しています。 時間帯での車両の使い分けは、二重投資になるので難しいと考えていますが、利用者の実情に応じたダイヤの設定や、ニーズに応じた車両サイズを使用するなど、利便性に加えて効率性にも配慮しながら持続可能な交通を確保していきたいと考えております。	無
2	P.53 1.市街地の魅力 向上プロジェクト	1 月中頃、循環バスを利用しようと、定刻前にバス停で待っていたことがあった。しかし、その時間帯のバスは結局来ず、バス停の注意書きなども探したが、それらしいものもなかったため次の便を待った。そこで、リアルタイムでバスの位置がおおよそ分かるサービスをみながら待ったが、その“バス”のアイコンの挙動がおかしく、目の前にバスがいないのに、バスがいるような表示になったときは憤りすら覚えた。最終的に 15 分ほど遅延してバスが到着したらしいが、予定に間に合わない判断し利用しなかった。 そもそも夏と冬でダイヤを変えているのはなぜだろうか。私はただの利用者で現場の苦悩は知らないが、その利用者は遅延が 5 分以内の正確なダイヤのみを求めている。それを実現するための冬ダイヤではなかったのか。ただでさえ本数が多いとは言えないのに、大きな遅延までしていたら、バスなど信用できないし、使いたいと思いにくくなる。さらに本数を減らしてもよいから、時間に余裕を持たせて正確なダイヤを作ってもらいたい。米沢の冬を何度も超えて、冬の道路状況や渋滞の有無などのデータは十分にあるはずだ。	冬期間は降雪による道路状況悪化等により遅延が生じやすく、循環バスのダイヤが乱れやすくなることから、冬ダイヤを設定し予定どおり運行できるよう努めております。 しかしながら、近年頻発する短期間の集中的な大雪時などは、道路の除排雪作業が追いつかなくなるなど、市内全域で道路環境が大きく悪化することから、ダイヤどおりの運行が困難な場合もあり、利用者の皆様には御迷惑をおかけし大変申し訳ありません。 1 週の運行時間に余裕を持たせる方法も考えられますが、道路状況が良く遅延の少ない時間帯にバス停での時間調整も発生するため、極端にダイヤを変更するのが難しい状況にあることを御理解願います。 なお、市街地において多くの方に利用されている循環バスについては、重点事業1-1-①「市街地循環路線の再編・見直し」として、ダイヤ・経路・運行本数など、さまざまな視点で見直しの検討を行うこととしておりますので、今後、更に利用しやすい環境を整えていきたいと考えています。 また、バスの位置情報をお知らせしている「バスナビ」につき	無

			ましては、バスに搭載している発信機と交信しているシステムであり、過去には、バスに搭載している機器の接触不良によって適切な位置が表示できない事例が発生したことで、利用者の皆様に御迷惑をおかけしております。大変申し訳ありませんでした。 今後も車両及び機器は日々点検を行いながら、適切な運行に努めてまいります。					
3	P.60 広域連携強化プロジェクト	過日地元のスキー場関係者と懇談し、冬期間以外のスキー場の利活用などを提案した。 バスで行って一日楽しんでこられるイベント等の検討を地区あげてやりたいとも提案している。	地域公共交通を維持していくためには、行政や交通事業者だけではなく、市民の皆さまに公共交通を利用して頂いたり、積極的に改善に向けた検討に参画してもらうなど協力・連携しながら、これからの公共交通を支え、守り、育てていくことが重要と考えていますので、今後とも御協力をお願いいたします。 また、計画におきましても戦略的に進める事業3-2-(1)として「バスやタクシー等を活用した観光パックの展開及び医療機関などの広域的な移動の検討」を設定しており、公共交通を活用した地域振興策についても検討していきたいと考えています。	無				
4	P.61 4.利用しやすさ・わかりやすさ改善プロジェクト	学生がバスを利用しやすいよう、学割を発行してほしい。 高校生・大学生については学生証を用いて学割や定期券利用を可能にしてほしい。 小学生・中学生については平日無料とし、スクールバスも兼ねた周遊バスを運行してほしい。 学校統合で遠方から通う児童について、スクールバスに限らず個人の下校時間に合わせたバス利用を可能にしてほしい。	今後、計画を推進していくうえで学生などの交通弱者対策は大事な視点だと捉えています。このことから、今回策定した計画では重点事業 4-1-①として「運賃制度の見直し」を設定しており、次年度以降、分かりやすく利用しやすい運賃制度を検討していく予定ですが、いただいた御意見を踏まえ、重点事業 4-1-①の【取組の内容】を次のとおり改めます。 <table><tr><td>変更前</td><td>○運賃減額や乗継割引制度____など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。</td></tr><tr><td>変更後</td><td>○運賃減額や乗継割引、学割の拡充など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。</td></tr></table> 小中学校統合に係る通学については、保護者及び地区の方々と協議し決めております。	変更前	○運賃減額や乗継割引制度____など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。	変更後	○運賃減額や乗継割引、学割の拡充など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。	有
変更前	○運賃減額や乗継割引制度____など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。							
変更後	○運賃減額や乗継割引、学割の拡充など、利用状況や収支を勘案した利用しやすい料金体系を検討します。							

			具体的には、スクールバスやタクシーを利用する場合の登下校の運行時間は、学校の時間割に合わせた時間設定で行っています。小学生・中学生ともに登校時は 1 便、下校時は早便と遅便の2便を運行しており、長時間学校に居残りをしたり、部活動への参加が出来ないということがないように対応しております。					
5	P.61 4.利用しやすさ・わかりやすさ改善プロジェクト	バス停の安全性が現状非常に低いので(特に冬期間)、新たにバス停を設置する場合は、すこやかセンター内バス停のような、敷地内への設置を基本とすべきと思う。	御意見のとおり、現状のバス待ち環境には課題があると考えております。そのため、当計画では、重点事業4-1-②「バス待ち環境の改善」を設定しており、具体的な取組としては、利用が多い施設やランドマークの近くなどへのバス停の新設・移設など、バスを快適に待つための環境整備について検討していく予定ですが、冬期間のバス待ち環境の改善は重要な視点ですので、いただいた御意見を踏まえ、重点事業4-1-②の【取組の内容】を次のとおり改めます。 <table><tr><td>変更前</td><td>○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、____バスを快適に待つための環境整備について検討します。</td></tr><tr><td>変更後</td><td>○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、<u>冬期間も考慮した</u>、バスを快適に待つための環境整備について検討します。</td></tr></table>	変更前	○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、____バスを快適に待つための環境整備について検討します。	変更後	○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、 <u>冬期間も考慮した</u> 、バスを快適に待つための環境整備について検討します。	有
変更前	○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、____バスを快適に待つための環境整備について検討します。							
変更後	○経路の沿道上のコンビニ・スーパー・商店などの施設と連携して、施設の待合スペースの活用など、 <u>冬期間も考慮した</u> 、バスを快適に待つための環境整備について検討します。							
6	P.65 5.公共交通の基盤固めプロジェクト	ICカードの導入は良いと思うが、支払い方法は手軽にできるよう考えてほしいと思う。	ICカードの導入により、乗降の際に小銭の出し入れが不要になったり、コンビニや自販機などでも電子マネーとして利用可能になったりするなど、公共交通の利便性向上や利用促進が期待できます。 山交バス株式会社では、令和4年5月から地域連携ICカード「yamako cherica(ヤマコウチェリカ)」のサービスを開始予定ですが、本市の市民バスでも導入を予定しています。yamako cherica はバス車内のほかコンビニでもチャージ(入金)すること	無				

			ができ、主要な交通系ICカードが使える交通機関でも利用できるほか、電子マネー機能としてコンビニや自販機等でのお買い物でも利用可能です。 御意見のとおり、重点事業 5-1-①「IC カードの活用」の取組として、より多くの方にICカードを身近に感じてもらえるように、市の広報やチラシ等を通じて使い方を周知していくほか、バスの乗り方教室なども行いながら実際にICカードに触れていただく機会も設けたいと考えております。 次年度以降、ICカードを利用するメリットを感じていただけるように、さまざまな取組を展開していきたいと考えています。	
7	P.66 5.公共交通の基盤固めプロジェクト	大通りに面していない施設(コミセン)にはマイクロバスを運行してほしい。 東部地区の東大通や万世地区から東部コミセンに行く場合バスがないので、マイクロバスやタクシー利用の支援を考えてほしい。 (同意見1件)	計画では、循環バスの利便性向上や、市周辺部から中心部へのアクセス性の向上、これらで賄うことが難しい近距離の移動需要など、さまざまなケースに対応した交通を検討していく事としております。 重点事業 5-1-③として「地域主体の交通サービスの導入等の支援」を設定していますが、地域でのきめ細かな移動手段等については、地域の意見・要望に沿った地域主体によるサービスの展開をしていきたいと考えています。例えば、地域内の定額タクシー、デマンド交通、小循環交通など、様々な運行形態が考えられます。 地域内の移動手段の確保に向けては、地域のことを最もよく理解している地域の皆様が中心となって取り組んでいくことが重要と考えていますので、御協力をお願いします。	無

8	P.67 5. 公共交通の基盤固めプロジェクト	全年齢でバス利用を身近にすることで、将来的には高齢ドライバーの免許返納につなげてほしい。 自動車の免許を返納した高齢者等への市民バス乗車無料バス発行の検討をお願いしたい。 出かければ、買物や昼食などできるので経済効果はあがると思う。健康長寿日本一も図られるだろう。 (ほか同意見2件)	高齢ドライバーの免許返納を促進する取組としましては、免許返納者などが利用しやすい公共交通の環境づくりから進めていきたいと考えており、計画では、循環バスの利便性向上や、市周辺部から中心部へのアクセス性の向上、これらで賄うことが難しい近距離の移動需要など、さまざまなケースに対応した交通を検討していく事としております。加えて、重点事業5-1-④として「企業や免許返納者に対する利用促進策の展開」を設定し、高齢者の免許返納に向けた優待サービスや利用促進を図るための取組を検討していく予定ですが、いただいた御意見を踏まえ、重点事業5-1-④の【取組の内容】を次のとおり改めます。	有
		<table><tr><td>変更前</td><td>○また、免許返納者を対象として _お得に公共交通を利用することができるサービスなどを展開することで、公共交通の利用促進を進めます。</td></tr><tr><td>変更後</td><td>○また、免許返納者を対象とした<u>運賃優遇策の拡大など</u>お得に公共交通を利用することができるサービスなどを展開することで、公共交通の利用促進を進めます。</td></tr></table>	変更前	
変更前	○また、免許返納者を対象として _お得に公共交通を利用することができるサービスなどを展開することで、公共交通の利用促進を進めます。			
変更後	○また、免許返納者を対象とした <u>運賃優遇策の拡大など</u> お得に公共交通を利用することができるサービスなどを展開することで、公共交通の利用促進を進めます。			